

議会だより

なよろ

平成 30 年
12 月定例会

第 51 号

平成 31 年 2 月 1 日
発行



特集！名寄市立大学生と意見交換

目次

- 名寄市立大学生と意見交換 2～3
- 新年のごあいさつ 4
- 定例会で決まったこと 5
- 総合計画総括質疑 6
- 議決結果・賛否の分かれた議案 7
- 一般質問に 9 人 8～12
- 総務文教常任委員会所管事項調査報告 13
- 経済建設常任委員会視察報告 14
- 各委員会活動報告 15～17
- きぼう・編集後記 18

題字 名寄高等学校 大野 風花(おおの ふうか)さん



特集

若い方の声を議会に!

選挙権が18歳以上になったのをきっかけに、若い方々の意見や声を議会だよりに反映させたい、また、政治に少しでも関心を持っていただきたいとの思いから、名寄高校の新聞局には取材(No.42)に来ていただき、名寄産業高校の生徒会にはインタビュー(No.48)をさせていただきました。今回は最期の取り組みとして名寄市立大学の学生7名と名寄市議会議会報特別委員会7名で、11月6日に意見交換を行いました。

意見交換

名寄は雪が多くてビックリ!

名寄の印象は

- 雪の多さにビックリした。寒さも厳しいが、雪遊びをして冬を楽しみたい。
- 地元も名寄と同じように雪が多いが、雪質が違う。名寄の雪はサラサラ。

ちよつと家賃が高いなと感じた

名寄の暮らしは

- 学生寮に入っているので生活経費は安くすんでいい。
- 寒い地域なので暖房費も



社会保育学科3年 丹野 恵 (青森県三沢市出身)
 社会福祉学科2年 後藤 基奈 (岩手県盛岡市出身)
 社会福祉学科2年 牧野 みゆき (秋田県横手市出身)

バイト先の人に恵まれています

アルバイトは

- 家賃や光熱費などの生活費に対して、アルバイト代が安いと感じる。最低賃金のところが多い。

- 自分で学費、生活費を全部払っている。アルバイトはお金というより社会勉強だと思っている。バイト先にはいい人が多く、人に恵まれていると感じる。
- 人手不足も結構あって大



- 図書館や大講義室は携帯電話の電波が悪い。インターネットを使う授業もあり、スマホで検索したくても圏外になり不便。
- 社会福祉学科は2号館(旧恵陵館)をよく授業で使うが、冬になると寒い。

- よさこいサークルに入っている。名寄の名前を知ってもらうため、名寄市のために活動している。遠征時に自動車学校さんがバス送迎をしてくれていてとてもありがたく感じている。

議会報特別委員会



立市寄名 と生大学



社会保育学科 2年
おおぎや
扇谷 みづき
(三笠市出身)



栄養学科 2年
まつざき ひなこ
松崎 日菜子
(室蘭市出身)



栄養学科 3年
さいとう まどか
齋藤 円香
(札幌市出身)



社会保育学科 3年
ささき ひろな
佐々木 宏菜
(宮城県登米市出身)

かかる。家賃が高くても入るしかないが、もう少し安いと学生にはうれしい。
●市内マンションや下宿でそれぞれ差がある。事前説明と違うこともあり学生系の先生に相談し協議したケースもあると聞いている。その点で学生寮は安心。



変。私はテスト前に比較的休みが取れているが、希望休が取れない人も多いと聞く。
図書館 **広くきれいになった**
学ぶ環境は
●新しくきれいになり、入りのセンサーも近代的でいい。
●学習スペースが広くきれいに整っている。窓が大きく光も入るし、勉強の合間に視線を上げると外の景色が見えてなごむ。

名寄市立大学

「ケアの未来をひらき、小さくてもきらりと光る大学を目指す」を理念とし、栄養、看護、社会福祉、社会保育の4学科で構成される公立大学。現在の在籍学生数は約730名。専門領域の知識や技術を高める教育に取り組み、国家試験合格率(2017年度)は管理栄養士、看護師、保健師、精神保健福祉士で100%。保健・医療・福祉・保育の連携と協働を支える専門職を育成し地域に輩出している。

住民票は移しました
●住民票は移している。強制ではないので、移していない人もいるかも。
●入学式当日、学内に転入手続きの窓口が開設されている。スムーズでとても助かっている。
●前回の選挙は、学内に期日前投票所ができたのでそこで投票した人が多かった。



新年のごあいさつ

名寄市議会議長 黒井 徹

新年あけましておめでとうございます。平成最後の新年を皆様と共に迎えられる事に心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年は西日本の豪雨や胆振東部地震など、災害が多く発生した年であり、年末恒例の一年を表す漢字が「災」となりました。災害に遭われた地域の人々は、今なお不自由な生活と復旧復興に努力されている事と思います。本当に大変な一年であり衷心よりお見舞いと激励を申し上げます。

韓国で開催された平昌オリンピックでは日本選手が多くのメダルを獲得し、明るく嬉しいニュースを届けてくれました。名寄市では加藤市長の3期目がスタートし、総合計画の中期基本計画が本年から稼働して参ります。

名寄市立大学の社会保育学科が本年4月に4学年揃い、昨年新築した5号館の学舎が全面活用となります。人口減少時代にあつて、大学の若い学生の存在意義は重要なものであります。

私達市議会もあと「第一回定例会」を残すのみとなりましたが、四年間市民の皆様にご理解を頂き議会活動の見える化に取り組んで参りました。年一回の報告会とさらに町内会単位の「意見交換会」を実施するにあたり、各町内会会長をはじめ地域の方々には大変お世話になり感謝を申し上げます。いただいた貴重なご意見は、精査した上で市長に上申し回答を戴く事になっております。また各常任委員会でも所管の案件を協議し、対策を研究しているところ です。

さらに委員会では別に研究課題を設定し、調査のために先進地への視察や関係団体との意見交換を行い、その結果を本議会にて公表し、行政への意見・提言として申し上げ、実効性のある対策として戴くように申し入れているところです。まだ不十分ではあります。私達の任期は四月までですが、信頼される議会を目指して参ります。引き継いで行かなければならないと思っております。結びになります。新しい年が皆様にとって明るく幸せな一年になりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶と致します。

迎春

市民連合・凜風会

熊谷 吉正

佐藤 靖

奥村 英俊

高野 美枝子

佐久間 誠

山崎 真由美

浜田 康子

市政クラブ

東 千春

佐々木 寿

山田 典幸

東川 孝義

塩田 昌彦

黒井 徹

公明

高橋 伸典

日本共産党

川村 幸栄

新緑風会

大石 健二

無所属の会

川口 京二

名風会

野田 三樹也

議会日誌 10~12月

- 10/4 総務文教常任委員会
- 10/10 市民福祉常任委員会
上川北部市町村議会議長会
定例会(下川町)
- 10/12 経済建設常任委員会
- 10/15 北海道市議会議長会道北
支部議長会(ホテル藤花)
- 10/17 議会報特別委員会
- 10/18 議会運営委員会
- 10/25 全国市議会議長会基地協議会
北海道部会定期総会(稚内市)

- 10/26 経済建設常任委員会
- 10/30 総務文教常任委員会
- 10/31 市民福祉常任委員会
- 11/6 議会報特別委員会
- 11/7 総務文教常任委員会
経済建設常任委員会
- 11/12 全国市議会議長会基地協議会
理事会(東京都)
- 11/14 全国市議会議長会研究
フォーラム(宇都宮市)
- 11/16 議会運営委員会
- 11/19 総務文教常任委員会
- 11/20 市民福祉常任委員会
経済建設常任委員会

- 11/26 各会派代表者会議
- 11/30 総務文教常任委員会
議会運営委員会
議会報特別委員会
- 12/3 平成30年第4回定例会開会
議員協議会
- 12/4 市民福祉常任委員会
- 12/5 総務文教常任委員会
- 12/10 総務文教常任委員会
- 12/12 経済建設常任委員会
- 12/14 総務文教常任委員会
- 12/19 議会運営委員会
- 12/21 平成30年第4回定例会開会
- 12/26 市民福祉常任委員会

平成30年 第4回定例会 12月3日～12月21日

名寄市総合計画(第2次) 中期基本計画、名寄市立大学奨学金給付条例を可決

平成30年第4回定例会を12月3日～21日までの19日間で開会。第3回定例会で付託議案とした「名寄市水道事業給付条例の一部改正」を、経済建設常任委員長からの審査内容報告後、賛成多数で原案のとおり可決。「名寄市立大学奨学金給付条例の制定」および「名寄市営牧野条例の一部改正」についてを委員会付託議案とし、会期内で委員会審査を行い原案のとおり可決しました。

また、名寄市総合計画(第2次)中期基本計画を定めることについて、2日間の集中審議を行いました。

議案審議では条例12件、補正予算7件、協定の締結など14件、意見書案6件を審議し、一般質問では9人の議員が市政に関し質問しました。

条例の制定および改正

☆名寄市水道事業給付条例の一部改正について

現行の料金水準では資金不足が生じることから、安定的で継続した水道水の供給を行い、災害にも対応できる水道事業の経営基盤を確立するための料金改定を行いました。

☆名寄市立大学奨学金給付条例の制定について

名寄市立大学に在学し経済的理由により修学困難と認められる学生に対し、奨学金を給付することにより、学修を奨励し、有能な人材を育成す

ることに資することを目的に条例を制定しました。

☆国民健康保険税等の納期の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

国民健康保険税、後期高齢者医療保険料及び介護保険料の納期を6期から8期に改め、1回当たりの納付額を減らし、加入者の納付に対する負担軽減を図ることとしました。

☆名寄市営牧野条例の一部改正について

合併以降、名寄市営牧野と母子里地区共同牧場の2つを

異なる条例で管理運営してきましたが、料金体系の統一化などを行い畜産振興を推進するものです。

主な補正予算

☆有害鳥獣・ヒグマ等対策事業費

昨年の風連地区市街地におけるヒグマ出没対策として、風連駅周辺の草刈、雑木処理に要する経費として41万2千円を追加しました。

☆商店街等活性化関連補助金 中心市街地近代化事業補助金として3件の店舗改築等に対し経営基盤等の強化に向けた助成を行うため556万円

を追加しました。

☆河川維持管理事業費

河床の洗掘せんくわにより福徳川の護岸が倒壊したことから、さらなる河床洗掘や災害等の発生を防止することを目的に、護岸の修復工事を実施するため1100万円を追加しました。

☆食肉センター管理事務費

食肉センターの施設および設備を改修し、熱中症対策などの労働環境の改善や経年劣化による不具合の解消を図り、施設機能を向上をさせることを目的とし5129万円を追加しました。

中期基本計画(平成31年度～34年度)を集中審議

平成28年度にスタートした名寄市総合計画(第2次)の前期計画が本年度までの計画期間となっていることから、次年度以降4年間における本市の総合的かつ計画的な行政運営を図るための中期基本計画について、2日間の日程で集中審議を行い、市からの総括説明に対し、各会派から総括質疑が行われました。

重点プロジェクトおよび基本目標I～Vに対する質疑を行い、採決を行うにあたり下記の6項目の付帯決議を付すことを全体で確認し、原案のとおり可決しました。

付帯決議(一部抜粋)

- 1) 中期基本計画の市民周知に努めること
- 2) 財政規律を堅持し、財政健全化の維持に努めること
- 3) 重点プロジェクト推進・地域包括ケアの確立・急速に進む高齢化対策に努めること
- 4) 市民意向を的確にとらえ、実施計画の反映に努めること
- 5) 実施計画の具現化に際し、関係機関との協議、市民説明に努めること
- 6) 主要施策の成果指標の目標値達成に努めること

総合計画総括質疑



市民総意の総合計画に

市民連合・凜風会 佐藤 靖 議員

自治基本条例との整合性

問 名寄市の憲法と言える自治基本条例第19条3項で、「市長等は、総合計画に関する情報をあらかじめ市民に提供し、市民の意見を反映させるため、広く市民の参加を求めなければならない」と定めているが、今回の基本計画策定に関し、この条項は厳守されたのか。同じ目標に向かい、来年度から4年間歩むため、今計画の見える化を図り、名実ともに市民総意の計画とすべきではないか。

答 7回の審議会、2000人対象のアンケート調査、団体の意見聴取や意見交換に取り組んできた。しかし、さらに市民理解を得ることは必要であり、今後対応したい。

中期財政計画との整合性

問 市は28年11月に公表した「名寄市における財政課題」の中で、3本柱の財政規律を示した。今計画では、まだ事



市民ニーズに即した施策が求められている
(平成31年度予算査定から)

業費が見通せないものも数多くあるとともに、過去の総合計画においても時代のすう勢、緊急性から新たな事業が浮上するケースも少なくない。しかし、将来の負担とならないよう財政規律を厳守するとともに、公共施設等総合管理計画(28年度から47年度までの20年間で13%削減)を早期に取り組むべきでは。

答 財政規律の厳守は当然。公共施設等総合管理計画についても、できるものから着実に進める。



名寄市総合計画の推進を

市政クラブ 東 千春 議員

民間連携の考え方は

問 重点プロジェクトを民間と連携しながら進める必要があるが考えは。

答 経済元気化プロジェクトでは各経済団体との個別連携はもちろん、様々な協議会を通してオール名寄で経済振興を図りたい。安心子育てプロジェクトでは子育て支援、幼児教育・保育、放課後児童クラブなどの分野で民間との連携を図っている。幼児教育ではすべての園で子ども子育て支援新制度に乗って進めている。保育では新年度から民間保育園が給付費による施設運営に移行する。冬季スポーツ拠点化プロジェクトでは、冬季スポーツと共に地域振興も見据えながら進める。本年度から合宿誘致推進協議会をスポーツコミッションに組織移行したい。

冬季スポーツの拠点化は

問 冬季スポーツ拠点化プロ



冬季スポーツ拠点化プロジェクトの推進を

ジェクトの今後について。
答 地域の状況やスポーツ組織運営に必要な企画や財政にも精通した人材が必要と考える。
問 公共施設の今後の計画は
答 公共施設の今後の計画で中期4年間の議論の進め方は、実施計画で予算化していないものは今後検討したい。施設の配置は立地適正化計画と連動させたい。
問 中期財政計画について
答 中期財政計画の考えは。示した計画では基金の運用で予算化したが、財政規律の順守を図りたい。

平成30年第4回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
平成30年第3回定例会付託議案第21号	名寄市水道事業給水条例の一部改正について	原案可決
議案第1号	名寄市立大学奨学金給付条例の制定について	原案可決
議案第2号	国民健康保険税等の納期の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	原案可決
議案第3号	名寄市宮牧野条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市総合計画(第2次)中期基本計画を定めることについて	原案可決
議案第5号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(和寒町)	原案可決
議案第6号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(剣淵町)	原案可決
議案第7号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(下川町)	原案可決
議案第8号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(美深町)	原案可決
議案第9号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(音威子府村)	原案可決
議案第10号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(中川町)	原案可決
議案第11号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(幌加内町)	原案可決
議案第12号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(西興部村)	原案可決
議案第13号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(枝幸町)	原案可決
議案第14号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(浜頓別町)	原案可決
議案第15号	定住自立圏形成協定の一部を変更する協定の締結について(中頓別町)	原案可決
議案第16号	指定管理者の指定について(サンピラーパーク森の休暇村)	原案可決
議案第17号	平成30年度名寄市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
議案第18号	平成30年度名寄市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第19号	平成30年度名寄市下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第20号	平成30年度個別排水処理施設整備事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第21号	平成30年度名寄市立大学特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第22号	名寄市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第23号	名寄市特別職の職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第24号	名寄市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第25号	名寄市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第26号	平成30年度名寄市一般会計補正予算(第6号)	原案可決
議案第27号	平成30年度名寄市食肉センター事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第28号	名寄市議会基本条例の制定について	原案可決
議案第29号	名寄市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第30号	名寄市議会政務活動費の交付に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第31号	名寄市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第32号	名寄市議会会議規則の一部改正について	原案可決

(賛否の分かれた議案)

※ ○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	議員																	
			市民連合・凜風会	市政クラブ				議公	共	新	無	名								
平成30年第3回定例会付託議案第21号	名寄市水道事業給水条例の一部改正について		浜田康子	山崎真由美	奥村英俊	高野美枝子	佐久間誠	熊谷吉正	佐藤靖	東川孝義	塩田昌彦	山田典幸	佐々木千春	東井徹	黒橋伸典	川村幸栄	大石健二	川口京二	野田三樹也	
			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○

※公(公明) 共(日本共産党) 新(新緑風会) 無(無所属の会) 名(名風会) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



公有財産の有効活用を

市民連合・凜風会 山崎 真由美 議員

校舎及び体育館の活用は

問 来年三月に閉校が決まっている下多寄小学校や、閉校後数年が経過している日進小学校、東風連小学校、豊西小学校は、地域にとっても思いの深い施設である。公有財産として有効活用する考えは。

答 下多寄小学校は、学校教育だけでなく、風連獅子舞など地域文化の継承とコミュニティの場として役割を果たしている。閉校準備委員会での検討と地域の意向を尊重し、市教委としてできる限りの誠意を尽くし対応する。日進小

中学校と東風連小学校の体育館については、地域住民や少年団活動で利用されているが、豊西小学校は現段階で利用の見込みがない状況である。

市立病院と大学の連携を

問 冬季スポーツの拠点化事業が進む中、ジュニア選手育成を目標にした、病院と大学との連携による医科学サポ



今年度末閉校予定の風連下多寄小学校

ト環境の整備に対する考えは。
答 大学や病院と連携し、冬季スポーツの環境を整え活用する組織づくりを着実に積み上げてきている。北海道主催のメデイカルキャンプで得られた知見を生かし、市のジュニア選手育成や指導者育成に還元できるか模索していく。今後も医科学サポートの実績を出し、国などにアプローチしていきたい。

他の質問・安定と可能性を引きだす農業施策について、災害に対する取り組みについて、ICT対応可能な人材育成を



市民参加のまちづくりを

市政クラブ 東川 孝義 議員

民間活力を活用して

問 大学基準協会による七年ぶりの認証評価受審に向けた取り組み、現地調査を受けての指摘事項、今後の課題は。大学の学生数増加や学生の負担を軽減するため、将来構想ビジョンで計画されている民間活力による学生寮整備の考え方は。

答 今回の認証評価は、前回と比較して大学自らの責任で行う内部質保証が評価の重要なポイント。大学内部に内部質保証推進委員会を設置して、評価項目の点検作業を行い、

来年三月には評価が示される事から、課題を改善して大学運営に活用する。将来構想で民間活力による学生寮の整備を平成31年度に検討しており、今年度内に検討チームを設置し、学生寮の整備に向けた準備を進めたい。

健康の森施設の利活用は

問 健康の森は開園後22年、



市内経済への波及効果が大きい名寄市立大学

トムテ文化の森は20年を経過しており、森林フィールドには多くの施設がある。利用実績とニーズに対応した今後の施策は。
答 各施設、年度ごとの利用者の増減はあり、現状維持の施設もあるが、総体的には減少傾向となっている。今後も指定管理者とともに利用拡大に向け取り組んで行くが、日進地区再整備基本構想を基に、検討を深めていく。
他の質問・閉校した小学校施設の維持管理と利用について、公募を含めた民間活力による施策展開は

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



市民が主役のまちづくり

新緑風会 大石 健二 議員

新型出生前診断について

問 日本産科婦人科学会（日産婦）は2018年3月、母体中血液に含まれている胎児のDNAを検出して「染色体異常」について調べる新型出生前診断を臨床研究から一般診療化とすることを発表。市立総合病院で同診断を行う認定医療機関を受ける考えは。

答 当院は求められる資格や機器、相談体制等の要件が該当しないため、施設認定を受ける考えはない。（妊産婦からの）要望があれば、説明のうえ紹介状で認定施設の紹介を行う。

妊産婦の心のケアと対応は

問 期待と不安に向き合う妊産婦に寄り添い、出生前診断への疑問や悩みに対する妊産婦の心のケアについて、どのように対応をしているのか。また新型出生前診断を受けた妊産婦の相談窓口やケア対応は。

出生前診断については、

答 相談があった場合に、産婦人科医や助産師が適宜対応。新型出生前診断については認定（医療）施設で行っている。

新予算の負担金の検証は

問 負担金の支出が効果的、経済的及び効率的な執行となっているか否かについて、どのように検証を行っているのか。

答 従来の負担金はそれぞれの担当で検証、新規については財政や市長査定で検証している。

他の質問・風疹の感染症対策

他



多様化する地域の医療ニーズを考える



将来の青写真示し市民議論を

市民連合・凛風会 佐久間 誠 議員

利便性の高い地域交通網を

問 交通弱者に配慮した公共交通網や個別計画の今後の進捗と市民への周知は。

答 地域公共交通網形成計画、立地適正化計画、公共施設等総合管理計画の三つの計画の整合性を図りながらやっていく。あらゆる機会をとらえ市民との情報共有を行う。

JR宗谷本線の維持・存続

問 宗谷本線活性化推進協議会として、国、道への働きかけと共に「利用促進」に限定した対策は担わなければならないのではないのか。

答 11月に協議会を開催しJR北海道からアクションプラン策定に係る説明を受け、協議会として参画すると共に、策定作業については幹事会が2月中旬までに素案作成、2月末には報告できるように進めている。

問 JRの利用促進策では、沿線自治体とJR、旅行会社

などをつなぐプランナーの人材配置が必要と考えるが、踏み込んだ提案はされているか。また、「宗谷本線維持・存続」に活用する使用目的別のふるさと納税を考へてはいるか。

答 人材の部分は議論していないが、今後のアクションプランで利便性向上や利用促進策を盛り込みたい。ふるさと納税は広域で連携できる仕組みができるか研究し、協議会で検討したい。

他の質問・ 学童保育使用料の格差解消、病後児保育の現状中・高生の運動環境の整備



維持・存続に利用促進が求められている宗谷本線

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



地域経済とまちづくり

市政クラブ 塩田昌彦 議員

中小企業の振興対策

問 中小企業が果たす役割と今後における地域社会の持続性の実現に向けた理念を示し施策の方向性を示すための「中小企業振興基本条例」及び官公需受注の確保と公共事業の発注における地元業者育成の観点から、予算の確保と地元業者への優先発注に対する考えは。

答 現在、名寄市においても事業所の減少等の課題が多く平成28年度に名寄市中小企業振興条例の一部を改正し、新たに人づくりや創業支援・事業承継・起業などの課題解決に向けて取り組むべき施策を構築するための中長期的な方向性を定める「基本計画」の検討を位置づけている。また「官公需についての中小企業の受注の確保に関する法律」に基づき、契約の適正な確保ができる範囲内において、市内業者を優先的に指名するこ



公共事業と除排雪

とや地域経済の活性化に資する発注のため、地元企業の受注機会の拡大を定め、職員周知を行っている。公共事業の発注では、企業における新規雇用や技術者の養成・確保が難しくなることはインフラ整備や冬期間の除排雪、だけでなく、住民サービスの低下を招き、市民の生活に大きく影響するため、交付金や補助金を活用し安定した事業の確保に努めていく。

他の質問・名寄市における行財政改革の取組みについて、幼児教育・保育無償化対策の制度概要について



「合同墓」道内で次々と

公明 高橋伸典 議員

合同墓の設置を

問 少子高齢化で子孫への墓の継承が難しいことを理由に、合同墓への収め変えを望む方が増えている。墓の維持管理が不要で費用負担も低価格な合同墓設置の考えは。

答 少子高齢化、人口減少が急激に進んでいる状況や、安心して住み続けられるまちづくりの観点からも検討が必要なた時期と考えている。今後、市民ニーズ調査も含め、設置の必要性や施設の規模など、少し踏み込んだ内容について検討していきたいと考える。

問 9月6日に北海道全域でブラックアウトが起こった。この停電が冬に起きた場合、名寄でも凍死などの二次災害の発生が想定される。テレビが使えず情報確保が難しい状況のなか、市の広報車による情報発信も行われたが聞きづらい状況であった。また、ラ



住み続けられるまちづくりに合同墓を

ド交通

他の質問・除雪体制、デマ

一般質問

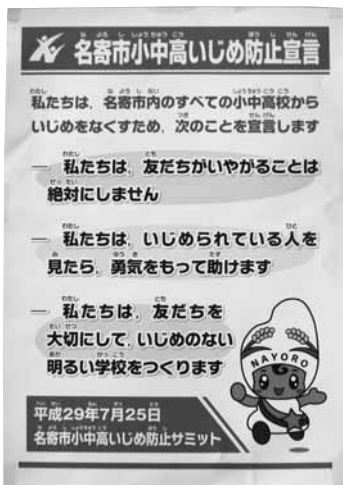
質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 昨年の暴風雪による多重衝突事故は記憶に新しく今年もその季

今冬の災害対策について

答 子どもたちの未来のために全国的に不登校やいじめが続き子どもたちの人生に多大なる影響がある。本市における不登校の傾向とその対策、いじめの調査と対策、名寄市子ども・子育て支援事業計画について伺う。

問 不登校の未然防止の取り組みを一層強力に推進する。いじめの未然防止と早期発見・早期解消のために29年11月よりきめの細かいアンケートや「小中高いじめ防止サミット」、心のケア等に取り組んでいる。支援事業計画については、児童の権利に関する条約の理念に基づき更なる充実に向け関係機関と連携し策定をする。



いじめのない社会を

節が来る。百台を超える車両の立ち往生もあったがその対策や冬の停電対応、「防災センター」等の考え方を伺う。

答 猛吹雪の対策については国・道・市の関係機関で確認意見交換を行い連絡調整した。冬の停電対応については広報等に掲載。停電時には町内会の自主防災組織が各町内会館を開放。今後も連携し対応したい。防災センター等については研究する。

他の質問・名寄市の美しい景観を活かした観光とその活用、ひまわり観光の現状と今後、地域資源を活かした観光推進



市民連合・凜風会 高野美枝子 議員

安心して暮らせる名寄市

問 18歳未満の子どもの均等割や平等割を廃止することについての考えは。

答 所得割と均等割については必ず算定することとされている。全国知事会などでは、子育て世帯の負担軽減を図るため、子どもに係る均等割額の軽減措置の導入や定率国庫

問 国民健康保険制度のあり方加入者に重い負担を強いている国保制度について、全国知事会などの地方団体は「加入者の所得が低い国保が他の医療保険より保険料が高く、負担が限界。抜本的な財政基盤の強化が必要」と主張。そこで、国庫負担の増額を求めることについての考えは。

答 今後も加入者の高齢化や一人あたりの医療費はさらに増加する予想。国保財政基盤の拡充・強化を図るため、さらなる財政支援の拡充や国庫負担割合の引き上げなどを要望する。



日本共産党 川村幸栄 議員

国保税の負担軽減を求める



パープルリボンをつけて「女性に対する暴力をなくそう」と訴える「なよろ」

他の質問・男女共同参画推進

問 公営住宅の入居に関わって応募する団地に偏りはあるものの、公営住宅への入居希望者は多い。賃貸住宅の家賃負担が大きいとの声が多く聞かれる大学生の目的外使用の可能性は。

答 目的外使用については、大学生の入居に限らず、長寿命化計画を実践しつつ活用の可能性を情報収集し研究したい。

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



活力あるまちづくりのために

市政クラブ 山田典幸 議員

農業振興施策について

問 9月6日に発生した胆振東部地震によるブラックアウトの影響で、酪農業において生乳の廃棄などの被害があった。今回のような災害等万一の状況に対する備えへの支援の考え方について伺う。

答 国や道の発電機導入や配電盤改修に対する支援を有効活用するよう情報提供と周知に努めるとともに、市としても今回の停電を教訓に今後の災害への備えとして、市内事業者の発電機の保有状況を調査し必要時には借上等の対応が可能となるよう取り組みを進めていく。

スキー場の利用拡大について

問 近年、道内において初心者や子ども向けにスノーエスカレーターを設置するスキー場が増加しており、利用者の拡大が図られている。ピヤシリスキー場への設置の考え方について伺う。



多くのスキー場で設置が進んでいるスノーエスカレーター

答 スキー人口の底辺拡大の視点で考えるとスノーエスカレーターは有効であると考えますが、設置場所や整備に伴う財源確保等の課題もある。今後スキー場の利用拡大策の一つとして、全体的な整備の中で検討をしていく。

他の質問・農業と連携した食育の取り組みについて

議会基本条例などを改正しました

名寄市議会では、議会改革を推進するため平成27年第3回定例会において議会改革調査特別委員会を設置して議論を進め、平成30年第1回定例会において委員長報告を行い、協議結果に基づく条例改正等は議会運営委員会に引き継ぎ議論することとしてきました。その内容について、一定の協議が整ったことから、第4回定例会において関係条例等の一部改正を行いました。

名寄市議会基本条例については、平成21年4月に名寄市議会基本条例を施行し10年が経過していることから、市民の意識や社会情勢の変化などを考慮し一部見直しを行いました。改正内容としては基本理念、基本方針、災害時の議会対応を条項に追加し、議決事項の定めと政務活動費の執行及び公開等について改正を行いました。

名寄市議会委員会条例については、これまで議長は議会の同意を得て常任委員会の委

員を辞退することができるとしていましたが、次期改選期からは常任委員会の委員を辞退しないこととしています。また、名寄市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例については、適用除外として新たに「女性の妊娠・出産」を追加したものです。

住民の声で議会の活性化を!!

議会を傍聴しませんか!



定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。
 ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
 ◇問い合わせは議会事務局(☎01654-3-2111)へお申し出ください。

総務文教常任委員会所管事項調査報告

未来を拓く「知」の館 市立名寄図書館の将来像について

総務文教常任委員会の所管事項調査として、老朽化した図書館の将来像を研究することを目的にこれまでの3年間で8か所の図書館等を視察し調査を進め、7月12日から11月30日まで10回の委員会を開催し報告書としてまとめました。



美しいデザインの赤穂市立図書館

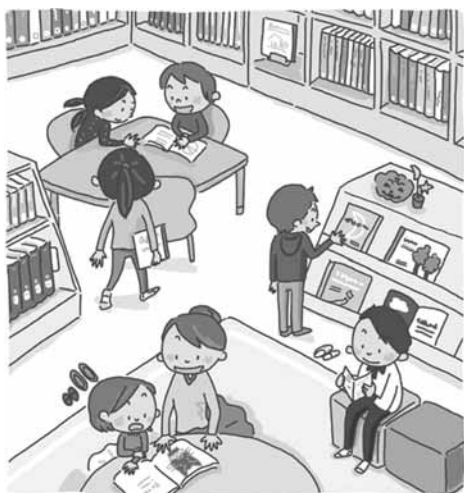
構成は『はじめに』『調査研究の経過』『視察先の概要』『市立名寄図書館の現状について』『まとめとして』とし、『まとめとして』の中には「建設に至る経過」「人材」「建設位置」「複合施設」「大学図書館との関係性」「歴史と図書館」の項目を盛り込み、『むすびに』で締めくくっています。『まとめとして』の「建設に至る経過」では多くの市民議論からコンセプトや基本理念を構築することが望ましい。「人材」では、核となる人材がいる図書館は活動が活発で、建設計画の市民議論の段階からノウハウのある経験者を登用、又は職員を先進地に派遣研修を行うなど、志のある人材が必要。「複合施設」では、児童クラブや保育所などの子育て支援、中高生の学習支援や健全育成に関連する複合、



子どもたちの育ちに役立つ図書館

高齢者の憩いや健康に関する複合、農業や家庭菜園と連携する複合などの意見が出されましたが、どの分野も学びは必要で、立地適正化計画等も考慮した考え方が必要です。

先進地での視察や委員会での協議検討を通し、改めて確認できたことは「図書館」に対する基本的な考え方の変化でした。利用者数や貸出冊数を重視するのではなく、知的探究心の開放、困りごとの解決、居場所の提供、



老若男女、市民みんなのための図書館

コミュニティの場など、市民の満足度を高めた結果として貸出冊数などの数字につながるものでなければなりません。また、既存の図書館機能に加え、中・高生への学習環境の提供や高齢者への憩いの場ともなり得る生涯学習環境の提供も重要であると考えます。今求められている図書館は、市民に愛され親しまれる図書館です。図書館を核とした新たなコミュニティが生まれ、やがては図書館が「ひとづくり・まちづくり」の核として市民の希望となることを切に願いつつ結びとし、総務文教常任委員会の調査研究報告といたします。

経済建設常任委員会視察報告

羽幌町・増毛町

10月2日～3日の2日間で「温浴施設のあり方」と「市街地活性化」をテーマに視察を行いました。

羽幌町では「はぼろ温泉の取り組みについて」説明を受け、平成6年の開業後約12年間は第三セクターの管理委託による運営だったが、利用形態の変化や、同型施設の開業などにより利用客が減少した



「はぼろ温泉」にて温浴施設のあり方を学ぶ

ため、平成18年4月より㈱アンビックスの指定管理に移行し、1期目10年は無償での指定管理を行い、約8万人前後の利用客で推移。サービスの老朽化もあり日帰り利用者が減少したため、平成28年4月の第2期からは2400万円の指定管理料を拠出し、集客の柱となるレストランメニューや宴会・夕食プランの改善、㈱アンビックスグループでの従業員研修に積極的に取り組んだ結果、前年比910万円増の3億2100万円の収入となり、650万円の内部留保を得たことでした。今後の課題として、調理員の確保や必要な人材の確保と育成、老朽施設の改修に係る多額の財源確保が必要とのことでしたが、当市における「なよろ温泉サンピラーの整備」の基本設計にも参考となる視察となりました。



逆転の発想で観光振興に活用されている「増毛駅」

増毛町では、平成27年のJR留萌本線の留萌～増毛間の廃線乗り越えて、鉄道遺産を活用した「鉄道廃線の増毛駅舎を活用した地域ブランド形成プロジェクト」について視察。「地方創生拠点整備交付金」の採択を受け、増毛駅舎の復元と増築、広場の整備、シンボル塔「テルミヌスへの願い」の制作、「歴史文化資産を活かしたまちづくりを考えよう」セミナーなどが実施されています。また、町内の青年たちの企画で「町民ら100人によるロングテーパーカット」や町民有志の青年部協働

隊による「トロッコ試乗会」の実施、クラウドファンディングによる旧増毛小学校の屋根のふき替えや旧富田屋旅館の修繕、景観保持に住民の協力を得るなど、歴史や自然、育んできた文化、人間関係など、増毛町のもつ多くの財産を活かし、JR留萌本線廃止から逆転の発想で中心市街地を活性化させ、これまで以上の賑わいを作り出そうという意気込みが町長の発言からもうかがえました。



鉄道遺産を活用した観光振興策の説明を受ける

総務文教常任委員会活動報告

第9回委員会を9月12日に開催し図書館に関する調査について協議を進めました。

第10回委員会は10月4日に開催し、総務部所管事項について、名寄市立大学の運営についてでは名寄市立大学育英奨学金制度の創設について説明を受け、継続的に検討している図書館に関する調査について協議を行いました。



名寄市立大学奨学金給付条例が制定されました

第11回委員会は10月30日に開催し、教育行政の推進では、平成30年度全国学力・学習状況調査の結果について報告を受け、小学生では理科以外は

おおむね良好で、中学生では5科目すべてが全国を上回った、などの説明を受けました。図書館に関する調査では報告書の素案について協議を行いました。

第12回委員会は11月7日に開催し、総務部から北・北海道中央圏域定住自立圏形成協定の一部変更について説明を受け、前回に引き続き図書館に関する調査について協議を行いました。

第13回委員会は11月19日に開催し、名寄市立大学の運営について、総務部所管事業について、教育行政の推進について、図書館に関する調査について説明を受け協議を行いました。

第14回委員会は11月30日に開催し、図書館に関する調査報告書の最終確認を行いました。

第15回委員会は12月5日に開催し平成30年第4回定例会議案第1号名寄市立大学奨学金給付条例の制定についてを



完成した風連中央小学校を視察

議題とし、生活困窮のラインは日本学生支援機構を参考にした。入学してからの成績を評価するため、支給は2年次からとし、各学科、各学年1名の12人で月額2万円とするなどの説明を受けました。

第16回委員会は12月10日に開催し、2年次から奨学金を支給するとの説明等に対し、1年次から支給すべきとの観点などから、多くの質疑が行われました。

第17回委員会は12月14日に開催し、1年次からの支給について2020年の学生募集に間に合うように協議するとその答弁があり、全会一致で原案の通り可決すべきものと決定しました。

議会運営委員会活動報告

平成30年第4回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、11月30日及び12月19日に委員会を開催しました。11月30日の委員会では、会期を12月3日から21日までの19日間とすること、一般質問は19日に5名、20日に4名、合計9名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は24件で、議案第1号名寄市立大学奨学金給付条例の制定についてを総務文教常任委員会に、議案第3号名寄市営牧野条例の一部改正についてを経済建設常任委員会にそれぞれ付託し、会期内での審議とすることとしました。また、議案第4号名寄市総合計画(第2次)中期基本計画を定めることについては、議事延期をして17日と18日の2日間で審議を行った上で採決を行うこととしました。12月19日の委員会では、最終日の本会議の議事日程及び議案等について協議7件の追加議案について審議することを確認しました。

市民福祉常任委員会活動報告

平成30年10月31日、11月20日、12月4日、12月26日に委員会を開催しました。市民部からは、「名寄市国民健康保険条例」「名寄市後期高齢者医療に関する条例」の一部改正について、これまでの納期6回を8回に増やし1回ごとの納付額の軽減を図る。ごみ分別収集方法の変更では、カセットコンロ用のガスボンベについて、穴あけ時の事故防止のため来春4月より穴あけ作業を不要とするなどの説明を受けました。



認知症予防に取組む「在宅介護を支える会」ふまねっと運動

健康福祉部からは、「名寄市介護保険条例の一部改正」および「名寄市保育所に関する利用者負担額を定める条例の一部改正」では納付期限等の変更について。また、「名寄市生きるを支える自殺対策計画」素案の内容について説明を受けました。

委員間協議では、10月～11月に市議会が行った「市民との意見交換会」で出された当委員会が所管する①共同墓設置に関する要望、②空き家に関する危険家屋対策、③ごみのポイ捨て対策について、市民部から現状説明を求めるとともに議論を深めました。

さらに、当委員会として継続的に協議検討している「地域包括ケア」の取り組みを深めるために、名寄市町内会連合会役員等のご協力をいただき「高齢者福祉に関する意見交換会」を行いました。出席者からは高齢化と役員等の担い手不足など町内会が抱えている共通課題をはじめ、農繁

期は活動が困難など固有の事情が紹介されたほか、障がい者にスポットを当てた事業の取り組み要望など、さまざまなお意見や提言をいただきました。一方で各町内会の地域の事情を反映した地域ケア会議のあり方に期待を寄せるご意見もいただきました。

最終的には、今任期中に取り組んできた「地域包括ケアシステム」に関する先進地視察、地域の実情に明るい町内会長等の意見要望、有識者の参考資料と継続してきた委員間協議を重ね、第1回定例会で報告書を提出したいと考えています。



名寄市町内会連合会役員等との意見交換で高齢者福祉に関する地域の実情をうかがう

議員研修会

(10月4日)

去る10月4日、名寄市議会議員会で、雄武町のオホーツク温泉ホテル日の出岬「海路」の視察研修を行いました。ホテルは平成10年にオープンし、地上6階地下1階の建物です。年間利用客は11万5千人前後であり、その内、日帰入浴は8万人前後との事でした。

年間稼働率は70%前後で、利益率の高い宿泊客を増やす施策として、オホーツク紋別空港利用の搭乗者助成制度や大手旅行会社と連携したツアーに取り組まれています。

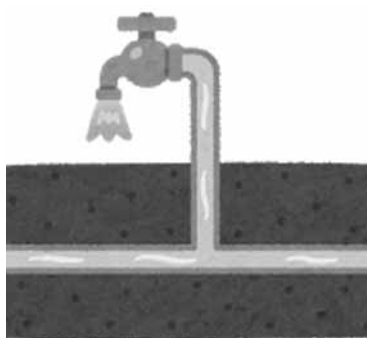
施設内の床絨毯も定期的に交換され、ホテル運営の基本である施設・サービス・食事等の取り組みは、当市のサンピラー温泉の経営改善の参考となるものでした。



温浴施設の経営について集客の工夫などを学ぶ

経済建設常任委員会活動報告

10月12日、10月26日、11月7日に開催した委員会では第3回定例会で付託された「名寄市水道事業給水条例の一部改正について」名寄市での経営状況や水道事業が抱える課題、今後の事業展望、他市との料金比較、改定の考え方について。また、改定期は平成31年4月1日、平均改定率は11・02%を予定しているなどの説明を受けました。質疑、委員間討論では、再確認事項として、高齢者や子育て世帯の対応について、自衛隊駐屯地への給水について、風連地区の井戸の活用について、大口使用者や市民周知について、施行時期と消費税増税の関連について質疑応答を行った後採決を行い、賛成多数により、「名寄市水道事業給水条例の一部改正について」を可決するべきものと決定しました。また、所管事項として胆振東部地震による被害状況カワーサレイクス市リンゼイ及びドーリンスク市の友好都



安心して持続可能な水の供給が求められます

市、姉妹都市訪問、台湾からの国立員林高級中學の受け入れ、台湾教育関係者の招請や農業青年台湾派遣事業について報告を受けました。

11月20日の委員会では名寄市営住宅管理条例の一部改正について、智恵文福徳川護岸ブロックの改修工事、平成30年度道路除排雪実施計画、都市計画マスタープランの見直し及び立地適正化計画策定状況とスケジュール、食肉センターのと畜場と加工場改修事業、なよろ温泉サンピラー改修事業の設計内容や今後のスケジュール、住宅改修支援施策に関するアンケート結果等について報告を受けました。

12月12日の委員会では第4回定例会で付託された「名寄市営牧野条例の一部改正について」の審査を行い、改正の目的や主な改正点、利用料金の算定、施行期日等の説明を受け、委員からの質疑の後、採決を行い全会一致で原案の通り可決すべきものと決定しました。また、委員会の調査テーマである、なよろ温泉サンピラー改修に関する意見等がまとまったことから、施設改修にあたって配慮すべき事項などについて経済部に参考意見を述べました。



畜産振興の基盤となる市営牧場

平成30年12月3日の第4回定例会初日終了後に議員協議会を開催し、名寄市総合計画（第2次）中期基本計画（案）の重点プロジェクトと基本計画との関係について、基本目標Ⅰ市民参画・健全財政について7項目、基本目標Ⅱ保健・医療・福祉について7項目、基本目標Ⅲ生活環境・都市基盤について13項目、基本目標Ⅳ産業振興について6項目、基本目標Ⅴ教育・文化・スポーツについて9項目、以上5つの各項目ごとの基本目標について並びに中期財政計画について説明を受けました。

議員協議会

（平成30年12月3日）



☆ き ぽ う ☆



災害時の備え……

名寄市徳田65番地127 佐藤 源嗣

私が現在の地に住み始めて40年以上になる。

名寄は、「災害の少ない住みやすい街」とつい最近まで信じてきた。

ところが4年前の8月局地的な激しい降雨で、床下浸水まであと数センチを体験し、今年9月には胆振東部地震のブラックアウトで全道停電を経験した。我が家に電気が戻ったのは40時間後のことで、冷凍庫内の食品が融けるという被害はあったが、電気に依存した生活に慣れきっている怖さを実感した。

もしこの地震が厳寒期に起きていたらと思うとぞっとする。集中豪雨や、大型台風などどうする事も出来ない面もあるが、災害に備える心構え・身構え・物構えの三つの構えの大切さを知った。



名寄の明るい未来のために

名寄市西4条南5丁目 吉田 直純

私は一般社団法人名寄青年会議所という青年団体で活動

させて頂いており、「明るい豊かな社会の実現」を目指し、日々「まちづくり」と「ひとづくり」携わる様々な事業を展開させて頂いております。青年会議所は20歳～40歳までの若者世代により組織されており、先述させて頂いた「まちづくり」と「ひとづくり」に携わる事業が、地域の未来を変えるために重要な意味を持つと考えております。名寄市ならではの特色を改めて見つめ直す事で、その魅力を市内外へと発信し「まちづくり」へとつなげ、そうした発信の過程を通じてまちのこれからを担うリーダーを育成、すなわち「ひとづくり」を行っていく。我々の取り組みが名寄市の「明るい未来」につながるものと信じ、これからも活動させて頂きたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

第4回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎日米物品貿易協定交渉に関する意見書
- ◎後期高齢者の窓口負担の見直しに当たり、現行制度の継続を求める意見書
- ◎日米地位協定のあるべき姿への見直しを求める意見書
- ◎被災者生活再建支援法の改正を求める意見書
- ◎相次ぐ災害に対する特別交付税の増額を求める意見書
- ◎教育の無償化・負担軽減に関する意見書

編集後記

新年あけましておめでとうございます▼昨年は、日本各地で大きな災害がありました。特に北海道では、9月6日未明に発生した胆振東部地震により、北海道全域で今まで経験したことのないブラックアウトによる電気の無い不自由な生活を体験し、防災対策への意識を強く持った年でもありました▼2月には、名寄の冬の祭典「雪質日本一フェスティバル」が開催されます。この地域の冬祭りを楽しみたいものです▼冬季スポーツのイベント、クロスカントリースイニニアオリピックも開催されます。地元ジュニア選手の活躍を期待しましょう▼議会だよりの編集にあたっては、若い方の意見や声を議会だよりに反映させたいという思いで、議会に対する高校生の目線で名寄高校生による取材や名寄産業高校生とのインタビューの記事掲載など、様々な取り組みを行ってきました。今回は、名寄市立大学の特集記事を掲載いたしましたのでぜひご覧ください。(昌)

